

とげんま！ No. 69

平川動物公園通信(2024年8月30日発行)

動物園は



ナベツル

7月末現在飼育動物数

種別	種類	点数
ほ乳類	76	560
鳥類	38	305
は虫類	13	32
計	127	897

編集:鹿児島市平川動物公園(☎099-261-2326)
〒891-0133 鹿児島市平川町5669-1
動物取扱業の種類:展示・販売・保管・貸出
登録番号:生衛動取 第357号 登録の年月日:R3.5.11
有効期間末日:R8.5.11 動物取扱責任者:桜井普子
発行:(公財)鹿児島市公園公社(☎099-221-5055)

2021年に「出水・ツルの越冬地」がラムサール条約に登録されてから、11月で3年です。毎年10月中頃から越冬のためツルたちが出水平野を目指して飛来し、日中は思い思いにエサをついばむ姿を、朝夕は一齐に飛び立つ姿を観察することができます。毎年飛来数が1万羽を超えるナベツルは、「鍋の底の煤」のような体色をしているのが名前の由来ですが、煤色から茶色のグラデーションが美しい成鳥の姿を、毎年私たちは楽しみにしています。

令和6年度 平川動物公園「秋の動物公園まつり」9/14(土)～11/4(月・振休)

長寿動物たちのお話 期間中9月の土日

内容 敬老の日にちなみ、高齢動物の紹介や飼育上行っているケアについてお話します。
※時間と場所は入園口に掲示します



世界サイの日特別ガイド 9/22(日)14:00

内容 世界サイの日にちなみ、サイと、サイが置かれている現状について飼育員が解説します。
場所 どうぶつ学習館



食欲の秋！動物たちの食事を見てみよう！

10月、11月の期間中の土日

内容 動物たちに秋ならではのエサをプレゼントします。
※時間と場所は入園口に掲示します



レッサーパンダデーイベント

9/15(日)・16(月・祝)14:00～

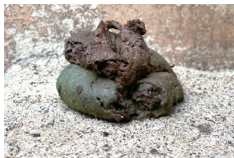
内容 レッサーパンダガイドを行います。
場所 レッサーパンダ展示場



動物たちの芸術品～BIJUZOO館～

9/14(土)～11/4(月・振休)

内容 芸術の秋にちなみ、動物たちが作り出した巣や寝床、うんち(!?)などを紹介します。
場所 どうぶつ学習館



動物園で自由研究発表会

11/3(土)13:00～

内容 夏休みに動物園で取り組んだ自由研究について児童が発表をします。
場所 どうぶつ学習館



コアラの日イベント

わたしの推し活！コアラ写真展 9/7(土)～11/24(日)

内容 来園者の皆様撮影したコアラの写真を、ご本人のコメントや装飾と共にご自身で展示していただきます。
場所 コアラ館(ガラス展示室)



コアラの日～野生のコアラについて考えてみよう～

10/26(土)13:30～14:30/27(日)11:15～11:45

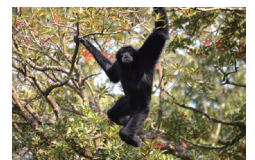
内容 10/26(土)コアラ館ガラス展示室▶オーストラリアで発生した森林火災をきっかけに、野生のコアラや環境のために私たちができることを考え、「マイ行動宣言」を行います。
場所 10/27(日)コアラ館バックヤード▶コアラ館バックヤード開放をし、コアラ飼育の舞台裏を紹介します。



スポーツの秋「みんなで体を動かそう！」パネル展

9/14(土)～11/4(月・振休)

内容 動物の特徴的な動きをパネルで紹介します。
場所 各展示場



令和6年
10/1(火)
11/4(月・振)

コアラ来園40周年記念

「秋のクイズラリー」

アプリで園内のクイズを読み込み、スタンプラリーにチャレンジポイントに応じてプレゼントに応募できます！



世界○○○の日、大集合!

テレビやラジオで「今日は何の日?」というコーナーがあるほど、毎日は記念日でいっぱいです。動物や環境に関する記念日も然り。動物園では、飼育している動物の誕生日だけでなく、このような日もイベントなどを通して紹介しています。

動物愛護
週間
9/20~26



動物の愛護と正しい飼い方について関心と理解を深めることを目的に、「動物の愛護及び管理に関する法律」の中で定められている週間です。当園では、「一日園長」「動物慰霊祭」「動物愛護児童作文」などを通して来園者の方々に動物愛護について理解を深めていただいています。また、巣箱づくり教室では、秋から冬にかけて巣穴のかわりにシジュウカラやスズメが使用する巣箱を作っていただいています。



世界
ゾウの日
8/12

江戸幕府八代将軍徳川吉宗公に、日本で初めてのゾウが献上されたことを記念した4/27の「象の日」とは別に、世界で暮らすゾウの現状を知り、ゾウの保護について考える日とされています。象牙の密猟や、生息地の減少によって、野生のゾウは厳しい状況に置かれています。当園のラウナとアンリーを通して、ゾウの現状を伝えています。また、ボルネオ島で暮らすボルネオゾウと私たちの暮らしに欠かせない「パーム油」との関係を考えるワークショップ「ボルネオゾウのレスキュー大作戦」の実施報告も、この日に合わせて行っています。



イベントの他、展示やSNS等で発信し、様々な動物の現状について考えるきっかけづくりを行っています。秋から冬にかけては、国際テナガザルの日(10/24)、世界キツネザルの日(10月の最終金曜日)、ネコの日(2/22)、国際ホッキョクグマの日(2/27)などがあります。動物園で暮らす動物たちを通して、彼らの野生化での現状にも興味を持ってもらえると嬉しいです。

イベントに関する情報は平川動物公園ホームページ(<https://hirakawazoo.jp/>)でもご案内しております。飼育員によるブログも随時更新中! X(旧Twitter)やInstagramもぜひチェックしてみてくださいね!